

令和7年度第1回島根県肝炎対策推進協議会 議事概要

【日時】令和7年8月4日(月) 16:00～18:00

【場所】サンラポーむらくも2階彩雲の間 (ハイブリット形式)

【議事概要】

(1) 島根県の肝炎対策の現状について

事務局より、**資料1-1**～**資料1-4**により説明した後、出席委員から意見を聴取した。

(委員意見)

- 「島根県肝炎等精密検査費用助成事業」については、患者が目に触れるよう幅広く周知をしていただきたい。
- 「島根県肝炎等精密検査費用助成事業」については、患者の負担を考えると、申請方法をデジタル化できないか検討してもらいたい。
- 人間ドックも含む職域での肝炎ウイルス検査で陽性となった者が精密検査を受けられる流れを作ることが大切であるため、健診機関の医師や産業医へ働きかけを積極的に行ってほしい。
- 「島根県肝炎ウイルス陽性者フォローアップ事業」については、対象者に連絡がつかない事があり、いつまで連絡を続けるのか等、今後整理していく必要がある。
- 「島根県肝炎対策推進基本指針」で示している目標値である肝がん年齢調整死亡率を一層低下させるためには、今後はウイルス性肝炎の対策だけでなく、非ウイルス性肝炎の対策も進めていくことが重要である。

(2) 今年度事業について

事務局より、**資料2**～**資料4**により説明した後、出席委員から意見を聴取した。

(委員意見)

- 肝炎医療コーディネーター養成・継続研修については、今後、集合形式での実施を検討してもらいたい。

(3) 報告

事務局より、**資料5**により説明した後、委員から意見を聴取した。

(委員意見)

- 人間ドックや健康診断によって肝炎ウイルス検査が含まれているものと含まれていないものとあり、選別が大変であり、また、医療機関で当日の申し込みで肝炎ウイルス検査を実施することは大変であり、素晴らしい取り組みである。